

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2013
平成25年

2.15

心を込めて
花を贈ろう！

目次	
「しみんの広場」	2
広報サポーターだより	
「たね、の簡単&おいしい」産直レシピ	
地域の話題	
市民活動を応援するページ	
スクールリポート	6
学校生活の一コマを紹介	
たはらシティニュース	7
連載コーナー	8
おしらせ	10
歴史探訪クラブ	12



しみんの広場

CITIZEN'S PLAZA

もくじ

- 広報サポーターだより……………2ページ
- たねの簡単&おもしろ「産直レック」……………3ページ
- 地域の話題（赤羽根校区）……………4ページ
- 市民活動を応援するページ……………5ページ

広報サポーターだより

花ポート・マムポートセンターを探る！

市民発!

皆さん、こんにちは。愛知県は日本一の花き産地です。なかでも、年間を通じて比較的温暖な気候に恵まれる田原市は、菊の一大産地です。今回は、菊などの花の出荷を担うJA愛知みなみ花ポートセンター（長沢町）と隣接するマムポートセンターについて、花ポートセンターの鈴木センター長にお話を伺いました。



●アルストロメリアの検品の様子



●トラックに積み込む場所



●花ポートセンター



●マムポートセンター



広報サポーター
河合
(神戸校区)

花ポートセンター(平成12年度設立)

は、集出荷施設としては日本最大の規模を誇ります。輪菊やスプレー菊、アルストロメリアやカスミソウ、スイートピー、バラ、ガーベラ、グロリオサ、ストックなどを取り扱っています。新たな保冷庫を増設するそう、鮮度を保ち、より良い品質保持のため、日々改善されていると思われました。最盛期の5〜6月は、1日で約7000ケースも出荷し、北海道から大阪あたりまで流通しています。春の卒業・入学、5月の母の日、6月の結婚式、8月のお盆、3月・9月のお彼岸、12月のクリスマスなどのシーズンも出荷量は増え、この時期の倍近くになるそうです。

花ポートセンターの出荷の様子



①

生産者の方が箱詰めした状態で持ち込む。花の品種・数量などを専用の機械でデータ入力。



②

一日に約60品種を取り扱う。部会ごとに箱の色が分かれ、オートメーションシステムで検品。



③

巨大な倉庫で、形態別に横箱用と縦箱用(ガーベラなど)の製品が管理され、徹底して品質管理。



④

トラックで全国の市場へ向けて出荷。



菊を1本ずつ人の手で機械に乗せ、長さを92cmにそろえた後にカット。選花機(16台)で、自動的に10本1束でまとめられ、サイズ別に緑色のコンテナに入れられる。



生産者が等級ごとに束ねた菊を持ち込み、栽培管理なども確認。ほとんど蕾の状態。

📦 マムポートセンターの出荷の様子



● 出荷された白色の菊

マムポートセンター(平成8年度設立)は菊専用の集出荷場です。渥美半島は、輪菊と呼ばれる白色や黄色の菊の産地として有名です。ICチップやバーコードによる品物の徹底した管理により、高品質が保たれています。この時期は、精興の誠・神馬という2品種がありました。



人の手の動きに近い機械で、エアードよく水切りをして箱詰め。(2Lサイズのは160本、L・M・Sサイズのは200本ずつ)最終検査をして出荷。



等階級ごとに分けられ、10本1束ごとに水揚げ用の水槽へ。2時間程度水に浸すことで鮮度が保たれる。

こちらの施設も、トレーサビリティを徹底させ、品種や生産者だけでなく、箱に貼られているバーコードで生産情報が分かるようになっていきます。
私たちが住む田原市では、花の生産が盛んです。季節感のある花を飾ってみたり、アレンジメントなどで暮らしに彩りを添えてみたり、身近な花を楽しんでみてはいかがでしょうか？
最後に、施設の案内・撮影にご協力いただいた、花ポートセンターとマムポートセンターの方々、お忙しい中ありがとうございました。



🍷 たね、の簡単&おいしい『産直レシピ』

広報サポーターのたね、が「旬を上手に、手軽でおいしく、誰にでも簡単にできる料理」をテーマに、今回は「キャベツ」を使ったレシピをお届けします。

キャベツの煮浸し

【材料:大人4~5人分】

- キャベツ 500g ●厚揚げ 200g ●だし汁 300cc
- 砂糖 小さじ2 ●しょうゆ 大さじ1 ●塩 小さじ0.5

【作り方】

- 1 鍋にだし汁と砂糖・しょうゆ・塩を入れ煮立たせる。
- 2 だし汁の中に、一口大に切った厚揚げを入れ下味をつける。
- 3 厚揚げを引き上げ、太めのざく切りにしたキャベツを加える。
- 4 キャベツがしんなりしてきたら、厚揚げを鍋に戻し、さらに煮込む。



*ポイント

だし汁と調味料を合わせると、味が濃く感じられますが、キャベツを入れ水分が出てくると、やさしい味に変化していきます。厚揚げの代わりに油揚げ・さつま揚げや、キャベツの代わりに白菜でも!



田原市の畑には、キャベツやブロッコリーが一面に栽培されていて、絵本に出てくる光景のようです。冬のキャベツは、炒め物・スープ・鍋物・煮物といろいろな料理に使えて大変便利です。野菜のやさしい甘みが出るので、煮込む料理に最適です。



▲芸能発表会で踊りを披露する皆さん



▲赤羽根夏祭り(盆踊り)の様子

地域の話題

赤羽根校区

誰もが参加できる楽しい校区

恵まれた自然環境の中で「赤羽根らしさ」「安全・安心」をテーマにまちづくりを行っている赤羽根校区コミュニティ協議会から
お便りが届きました。

ふれあいイベント

昨年7月、赤羽根海岸のロコパークで「赤羽根夏祭り」を行いました。盆踊りや花火大会、夜店などを通して、夏の夜の涼と校区民のふれあいができました。また当日は、サーフィンの世界大会が開催されたこともあり、市外から訪れていた方々も一緒に参加し、とても盛り上がりました。

さらに10月には「市民館まつり」を開催しました。芸能発表会や絵画、書道、生け花、盆栽、押し花などの作品が展示され、日ごろの市民活動の成果が伝わる素晴らしい演技や作品ばかりでした。また、区会や各種団体によるうどんや焼きそば、みたらし団子などのバザーや、子どもを対象としたゲームも大人気でした。

防災・防犯活動の取り組み

こうした各種イベントのほか、今年度は「安全・安心に暮らせるまちづくり」に向けた取り組みにも力を入れてきました。

赤羽根校区には、赤東区・赤中区・赤西区と3つの自治会があり、それぞれの区会が中心となり、平成24年度に「地震・津波避難マップ」を作成しました。校区における住宅地域の海拔は低くありませんが、生活圏が海に近いことや、サーフィンなどで訪れる観光客も多いことから、巨大地震に備えるため、作成した避難マップを各戸に配布しました。

また、サーファーや地域住民による避難訓練も行い、日ごろから防災意識の高揚に努めています。



防災活動のほかに、子どもたちが安全に下校できるよう、小学生の下校時間に合わせ、PTA・子供会・校区コミュニティ協議会役員による下校パトロールも行っています。

また、最近お年寄りの事故が多発していることを受け、田原警察署から講師を招き、高齢者向けの交通安全講話を開催しました。さらに、夜間の交通安全対策として、校区コミュニティ協議会から全戸に反射たすきを配布し、校区全体でお年寄りの事故の抑制、交通安全の意識を高めようと呼びかけています。



▲下校パトロールの様子

赤羽根校区では、これからも「赤羽根らしさ」を大切にして、お年寄りから子どもまで、誰もが参加でき楽しめる校区行事を開催し、安心・安全で暮らしやすいまちづくりを進めていきます。



市民活動を応援するページ



提案事業を募集! 市民協働まちづくり事業補助金をご活用ください

～みんなで一緒にまちづくり!～

地域 域づくり、清掃活動、福祉活動など、公共性の高い活動を行う市民活動団体を支援する補助金です。あなたの自由で創意工夫あふれる市民活動をさらに活発にするため、みんなで一緒にまちづくりを進めるため、補助金をぜひご活用ください。

対象事業

- 市内で実施、また市民に対して実施される事業で、公共性・公益性の高い活動（福祉、まちづくり、環境保全、子どもの健全育成など）
- 平成26年2月末日までに完了するもの

対象団体 市内で公益活動を行う5人以上で構成された団体

事業区分

事業費	補助額	募集期間	選考方法
事業費 10万円以上 のもの	事業費の2分の1 (上限 20万円)	4月1日(月)～4月22日(月)	書類審査 公開審査会での提案説明 ※審査結果により決定
事業費 10万円未満 のもの	事業費の2分の1 (5万円未満)	4月1日(月)～平成26年1月31日(金) ※随時募集	書類審査 市役所関係部署との協議 ※予算の範囲内で先着順

申請方法 市民協働課で配布する申請用紙に必要事項を記入して直接または郵送にて提出

(申請用紙は市ホームページからもダウンロード可: <http://www.city.tahara.aichi.jp/>)

※補助金の応募方法、申請書の書き方に関するご相談は、市民活動支援センターで随時受け付けています。お気軽にご相談ください。

《平成24年度事業報告会》一公開一

今年度の補助金採択団体が、それぞれの活動報告を行います。

補助申請の参考にもなりますので、ぜひお越しください。 ※申し込み不要

●日時: 3月30日(土) 午前10時～ ●場所: 田原文化会館 201・202 会議室

イベント紹介

あつみトレイルハイキング教室【見晴らしコース】

～今日から始めるハイキング! これで安心5つの基本～

まちづくりを目的に発足した特定非営利活動法人渥美半島ハイキングクラブの創立10周年記念行事です。経験豊富な山岳会会員にハイキングの基本を学びながら、環境保護や自然災害について考えます。

- 日 時: 3月3日(日) 午前9時30分～午後3時
- コ ー ス: 夕陽が浜～雨乞山～泉福寺～タコウド～蔭涼寺～福江干潟～夕陽が浜
- 集合場所: 夕陽が浜西公園(午前9時から受付開始)
- 参加費: 一般1,500円、学生1,000円 ※保険代を含む
- 定 員: 先着25名
- 持 ち 物: 弁当、飲み物、雨具など
- 主 催: 特定非営利活動法人 渥美半島ハイキングクラブ
- 申し込み&問い合わせ: ☎090-7863-3229 (鈴木)



田原市民活動支援センター

<http://www.city.tahara.aichi.jp/kyoudou/>

1 NPOや市民活動に関する相談を受け付けています。(毎週水・金・土 14:00～19:00 田原文化会館フリースペース)

2 このページおよび市民活動支援センターホームページに掲載する市民活動情報を募集しています。

●お問い合わせ: ☎22局1111(内線812) ※開設時間のみ ☎23局0180 ✉shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp



スクールレポート

SCHOOL REPORT 55
学校生活の
一コマを紹介

今回は、小学校での「夢育活動」と「木の葉の芸術」の様子と、中学校での「合同長距離走大会」の様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

田原中部小学校「夢育活動」

地域を再発信！「二七の市・子供サミット」

田原中部小学校では、平成24年度から、人としての生き方・在り方を学ぶ「夢育活動」を中心にキャリア教育を推進しています。

3年の『昔からの青空マーケット！二七の市』では、子どもが早朝から何度も市に出かけ、様子を見たり、インタビューをしたり、歴史を調べたりしました。見学を終えた子どもたちは、「市で売っている野菜は自家製で新鮮なものばかり」「市はみんな笑顔で楽しくお話できる」などの感想を話していました。300年以上も前から受け継がれてきた二七の市を調べたことで、市への愛着が深まり、そのよさをもっと多くの人に伝えたいと願うようになりました。そして、平成24年12月、あつまるタウン田原の役員や行政関係者の方などと一緒に「二七の市・子供サミット」を開催し、子どもたちが考えた「もっと魅力が増すアイデア」を提案することができました。



●将来の二七の市を提案する子どもたち

●完成した『にこにこはっば』



和地小学校「木の葉の芸術」

裏山の自然を生かしたなかよし班活動

和地小学校では、10年前から裏山の木の葉を使った『木の葉の芸術』作品作りを行っていて、伝統行事になっています。この活動は、全校児童が協力して一つの作品を作り上げることで、自然に親しみながら一層仲良くなることを目的としています。

今年度の図案を募集した結果、1年生の子が考えた『にこにこはっば』に決まりました。子どもたちは、全校で裏山へ行き、赤色や黄色に染まった木の葉を集めました。平成24

年11月、作品作り当日は、なかよし班(縦割り)の4グループに分かれ、4分割した図案に、次々と木の葉を貼り付けていきました。最後は、4つの絵を合わせて完成です。深まる秋をみんなで感じ、66名の絆を一層深めることができました。

野田中学校「合同長距離走大会」

学級の連帯感と新しい絆づくり

野田中学校では、平成23年度から泉中学校と合同で長距離走大会を行っています。チーム数が増えることで学級対抗意識も高まり、単学級の学校同士、よい刺激となっています。

本年度は12月12日に、合同長距離走大会を行いました。当日は絶好の長距離走日和。半袖短パン姿の生徒たちがスタート位置につくと、それぞれの学校の体育主任が元気よく気合いを入れ、校長先生のピストルの合図でスタート。一般の部でも駅伝の部でも、クラスメイトの応援を力に変えて懸命に走る姿が見られ、各学級の一体感が強まった大会となりました。



●元気よくスタートした生徒たち

1月29日 火
みんな大好き！
田原産の食べ物

学校給食週間(1/24～30)に合わせて、地元
の食材をふんだんに使った献立が実施されま
した。童浦小学校6年生の教室には鈴木市長
が招かれました。児童たちは「市長さんはど
んな食べ物が好きですか」と質問するなど、お
いしい給食を前に、会話も弾みました。



▲ブロッコリーなど日本一の農業をほこる田原市の食材が使われました

1月11日 金
渥美半島は
貝がうまい！

**消費者生活講座「渥美半島の貝をもっと
知ろう」**が田原福祉センターで開催され、市民
22名が参加しました。健全な暮らしや生活の
向上を目的に、年7回ほど行われるこの講座。
参加者は大アサリの調理などを通じ、渥美半
島の豊かな海の幸について学びました。



▲講師から大アサリの調理方法を学ぶ参加者。おいしそうですね!

1月23日 水
迅速な動作で
文化財を守る

文化財防火デー(1/26)に伴い、長興寺
(大久保町)で消防訓練が行われました。訓
練では、愛知県指定文化財に指定されてい
る木造観世音立像の収蔵庫付近からの出火
を想定。参加者21名は、通報訓練や消火訓練
などを通じ、一連の動作を確認しました。



▲放水訓練を行う消防署員と南部分団2号車の消防団員

広がる未来へ

たはらエコ・ガーデンシティ構想



●衣笠小学校の緑のカーテンが 最優秀賞を受賞

愛知県では、地球温暖化の防止に向けて、緑のカーテンの普及を図るため、「あいち緑のカーテンコンテスト」を実施しています。今回、衣笠小学校の緑のカーテンが、平成24年度学校部門の最優秀賞に選ばれました。このコンテストでは、平成23年度、平成22年度と伊良湖岬中学校が学校部門最優秀賞を受賞しており、3年連続で田原市内の学校が最優秀賞となりました。



▲衣笠小学校の緑のカーテン

●たはらエコチャレンジ宣言登録者数
個人2129人、事業所81か所(1月末現在)



●ゴーヤの世話をした特別支援学級の皆さん

衣笠小学校では、特別支援教室前と1年生教室前の花壇にゴーヤなどを植え、地域の方々

の協力で、校舎の2階に届くように竹とネットを張り、大きく立派な緑のカーテンを完成させました。緑のカーテンの裏で野菜を栽培したり、観察会や地球温暖化防止をテーマとした環境学習会を実施したりするなど、積極的に取り組んできました。

この受賞をきっかけに、来年度は、校舎の3階まで届く大きな緑のカーテンを作ることを考えているそうです。

コンテストには住宅部門、事業所部門もあります。市民の皆さんも、今年の夏は緑のカーテンコンテストに参加してみたいかがですか。

▼エコエネ推進課

☎23局7401 FAX23局0180

環境戦隊たはらエコレンジャー

環境けいじばん⑨

ゴミゴミとリサイクルレンジャー

田原市では、大気状況の測定を24時間体制で実施しています。今回は、どのような項目を測定しているのか、その一部についてご紹介します。

◆測定結果(平成23年度実績)

①二酸化硫黄(SO₂)

石油や石炭などの燃料中に含まれる硫黄が燃焼することで発生。

●測定値…1日平均値最高

0.002~0.007 ppm

※基準値1日平均値が0.04 ppm以下

②二酸化窒素(NO₂)

燃焼過程で一酸化窒素として排出され、大気中で酸化されることで発生。また、生物活動に由来する自然発生がある。

●測定値…1日平均値最高

0.002~0.033 ppm

※基準値1日平均値が0.06 ppm以下

③浮遊粒子状物質(SPM)

大気中に浮遊する粒子状物質のうち、粒径が10μm以下のもの、産

生、粒径が10μm以下のもの、産

業活動、自動車走行、土砂の巻上げなどにより発生。
(1μm≡1/1000mm)
●測定値…1日平均値最高
0.020~0.158 mg/m³
※1日平均値が0.10 mg/m³以下

①②③の測定場所は、童浦小学校、東部中学校、泉小学校です。



●泉小学校測定局内部

このほか、一酸化窒素(NO)、光化学オキシダント(O₃)、降下ばいじん(デポジションゲージ法)についても測定

しています。詳しくは、田原市ホームページ「統計情報」→「環境に関する測定・調査結果」をご覧ください。



▼環境衛生課

☎23局3541 FAX23局0180
<http://www.city.tahara.aichi.jp/>

交流通信

国内外との交流・多文化共生



多文化共生の基礎知識

～外国人も同じ地域の住民として一緒に地域づくり～

●多文化共生ってなに？

外国人も同じ地域の住民として互いに認め合い、共に地域づくりをしていこうということです。田原市には、約1,200人の外国人が住んでいて、日本人と同じように働いたり、学校で勉強したりしています。

●どうして多文化共生が必要なの？

日本に住む外国人には、生活習慣の違いなどに戸惑う方もいます。日本人と外国人がお互いに理解し合うことが、日常生活のトラブルなどの防止につながります。多文化共生を実現するためには、外国人が地域に溶け込もうとする努力と、地域に住む日本人が外国人を地域社会の一員として認め、協力し合うことが必要です。



●外国人支援とは違うの？

外国人支援というのは、困っている外国人を助けてあげようとする考え方です。多文化共生は、外国人も

地域社会を構成するひとりとして、支援される対象にとどまらず、地域づくりに参画してもらおうとするものです。

●田原市での主な取り組み

◎外国人のための「生活ガイドブック」

外国人の生活をサポートするための情報を集めた冊子です。英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語・タガログ語の6言語版があります。市内の図書館などでお渡ししています。市ホームページ(<http://www.city.tahara.aichi.jp/>)からもダウンロードできます。

◎日本語ボランティア養成講座

外国人への日本語の教え方や日本語についての知識を学び、ボランティア活動や外国人と接するときに役立ててもらおうというものです。今後も、多文化共生についての講座などを企画していく予定です。

▶広報秘書課 ☎22局0138

◆主な改正点

●津波浸水想定区域の拡大
これまでのマップに比べ、区域が大きく拡大しました。浸水被害が心配されますので、速やかに避難できるように備えましょう。

●津波避難対象区域の追加
東日本大震災のような巨大地震が発生すれば、津波浸水想定区域を越えて津波が襲ってくる可能性があります。津波警報や大津波警報が発表されたら、速やかに高い安全な場所へ避難しましょう。



こ んにちは、けんちゃんです。田原市では、内閣府が発表した南海トラフ巨大地震の想定をもとに、**田原市防災マップを改訂し**、2月1日に全戸配布しました。今回は、防災マップの主な改正点についてご紹介します。

けんちゃん

防災知恵袋

22



みんなできり組む防災・減災

田原市防災マップを改訂しました

●地震災害避難場所および避難収容施設の一部変更

浸水が心配される地区の地震災害避難場所・避難収容施設を一部変更しました。

◆注意点

- 津波避難対象区域外でも、津波が襲ってくる可能性はゼロではありません。津波警報や大津波警報が発表されたら、できるだけ高い安全な場所へ避難しましょう。
- 津波避難場所を自分で定めている地区もあります。昨年度、配布した地区ごとの「地震・津波避難マップ」で確認しましょう。

※地震・津波避難マップも順次更新し、該当地区に配布予定

▼防災対策課 ☎23局3548

【お詫びと訂正】

この防災マップに誤りがありました。お詫びして訂正します。

避難収容施設一覧表

⑬成章高校の電話番号
正：22局0141 誤：22局3939



募集

WANTED

田原市歯科保健業務嘱託員

▼募集人員 1名 ▼対象 歯科衛生士の資格がある方 ▼採用期間 4月1日～平成26年3月31日 ▼勤務場所 田原市役所 ▼勤務内容 歯科健診、歯科健康教育、歯科健康相談、学校歯科保健活動支援、保育園・幼稚園歯科保健活動ほか ▼勤務形態 月～金曜日（祝日を除く）午前8時30分～午後4時30分 ▼報酬 月額20万円 ▼選考方法 面接（詳細は後日通知） ▼申し込み 3

月8日（金）までに健康課にある履歴書に必要事項を記入のうえ、資格証明書を添えて提出

▼健康課

☎23局3515 FAX23局3810

田原市博物館企画展監視員

田原市博物館で4月13日から5月26日まで開催する企画展の展示室監視員を募集します。

▼募集人員 5名程度 ▼対象 健康な方 ▼勤務内容 展示室監視

▼勤務形態 午前9時～午後1時と午後1時～5時の交替勤務 ▼賃金 時給830円 ▼選考方法 応募者多数の場合は、書類選考後、面接（期

日など詳細は後日通知） ▼申し込み 3月8日（金）までに田原市博物館にある履歴書に必要事項を記入の

うえ開館時間内に提出（郵送不可） ▼田原市博物館

☎22局1720 FAX23局3770



「サンテファーム」および「ふれあい農園」利用者

いずれも1区画20㎡（5m×4m）の広さで、利用期間は4月1日～平成26年3月31日、利用料は年額5000円です。申し込み多数の場合は抽選により決定します。



☑サンテファーム

▼場所 田原市野田町芦ヶ池地内 ▼区画数 90区画 ▼申し込み サンテパークにある利用許可申請書に必要事項を記入のうえ提出 ▼受付期間 2月18日（月）～3月1日（金）

午前8時30分～午後5時

▼サンテパークたはら

☎25局1234 FAX25局1235

☑田原市民ふれあい農園

▼場所 田原市田原町北荒井地内 ▼区画数 50区画 ▼申し込み 農政課または営農支援センターにある利用許可申請書に必要事項を記入のうえ提出 ▼受付期間 2月18日（月）～3月1日（金）

午前8時30分～午後5時15分

▼営農支援センター（赤羽根市民センター）

☎45局3114 FAX45局3419

パブリックコメント 意見募集！

●田原市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について

募集期間 ▶ 2月20日（水）～3月21日（木）

市民の生活や産業活動などから排出される二酸化炭素削減のため、総合的かつ計画的な施策である田原市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を策定します。

担当課 ▶ エコエネ推進課 ☎23局7401 FAX23局0180

✉ekoene@city.tahara.aichi.jp

パブリックコメント手続制度に基づき、以下の案件について意見を募集します。

☑意見提出方法

①公表場所へ持参 ②郵便 ③FAX ④Eメール

住所・氏名・電話番号を明記のうえ、意見を提出してください。（個々の意見には直接回答いたしません。）

☑計画案の公表場所

市役所エコエネ推進課、赤羽根市民センター、渥美支所地域課、市役所情報広場、中央図書館、市ホームページ

http://www.city.tahara.aichi.jp/



田原市ホームページへの 有料バナー広告



▼募集期間 随時(掲載開始希望日の30日前まで) ▼掲載期間 1月単位(月初め～月末) / 12月まで連続可 ▼募集枠数 4枠(枠サイズ: たて60pixel × よこ170pixel / カラー) ※平成25年2月1日現在 ▼掲載位置 トップページ下段および右側枠(ランダム表示) ▼掲載料 1万円(月額) ▼参考情報 月間約2万アクセス ▼申し込み 広報秘書課で配布する申込書に必要書類を添えて直接または郵送にて(要綱・要領・申込書は市ホームページからダウンロード可) ※詳しくはお問い合わせください。 ▼広報秘書課 (〒441-3492 住所不要) ☎22局0138 FAX23局1691 ✉kohono@city.tahara.aichi.jp / http://www.city.tahara.aichi.jp/

シルバー人材センター 樹木剪定講習会・会員

●樹木剪定講習会
▼対象 60歳以上の方
▼日時 3月16日(土) 午前10時～午後3時 ▼場所 田原福祉センター ▼講師 吉田安伸氏 ▼定員 20名(先着順) ▼参加費 無料
▼持ち物 軍手、剪定ばさみなど
▼申し込み 3月7日(木) までに直接または電話にて
●シルバー人材センター会員
▼対象 田原市在住で、おおむね60歳以上の健康で働く意欲のある方で、シルバー人材センターの理念に賛同された方 ▼入会説明会 原則偶数月の15日(ただし、土・日曜日、祝日の場合は翌平日) ▼時間 午後1時30分から1時間程度 ▼場所 田原福祉センター ▼持ち物 筆記用具
【仕事募集】シルバー人材センターでは、庭木の剪定、草刈、清掃、除草、農作業、塗装、毛筆賞状書きなどの仕事を募集しています。お気軽にお問い合わせください。
▼田原市シルバー人材センター ☎23局1438



東三河地域防災協議会 平成24年度防災セミナー

▼日時 3月9日(土) 午後1時30分～3時30分 ▼場所 蒲郡市民会館中ホール(蒲郡市栄町3番30号) ▼テーマ 室内の地震対策 ▼講師 たくみ設計室 代表 鈴木啓之氏 ▼定員 500名(先着順) ▼参加費 無料 ▼申し込み 参加希望の方は防災対策課までご連絡ください。 ▼その他 手話通訳あり。参加者には防災グッズを贈呈。
▼防災対策課 ☎23局3548 FAX23局0180 ✉saigai@city.tahara.aichi.jp



生活

春季全国火災予防運動 3月1日(金)～7日(木)

これからの季節は寒さも和らぎ、火への注意も緩みがちになります。火災から命や財産を守るために、火の取り扱いには十分注意しましょう。

住宅防火7つのポイント

- 1 寝たばこは、絶対にやめる
- 2 ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使う
- 3 ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず火を消す
- 4 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する
- 5 火災の拡大を防ぐために、寝具や衣類・カーテンなどは、防災製品を使用する
- 6 火災を最小限に抑えるため、住宅用火災警報器などを設置する
- 7 お年寄りや体の不自由な方を守るために、近所の協力体制を整えておく

平成24年度防火標語

「消すまでは出ない行かない離れない」

▼消防課 ☎23局4074 FAX23局0180



歴史探訪

クラブ

History Inquiry Club

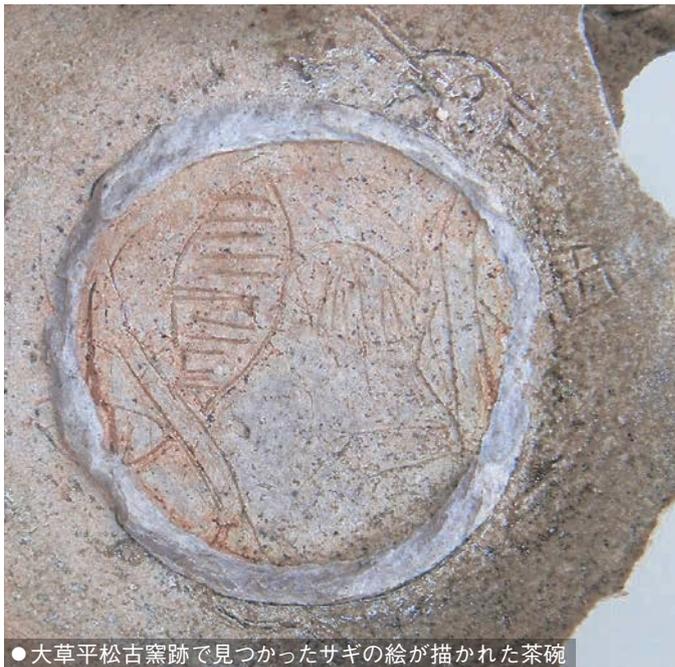


文化財課 ☎23局 3635
FAX 22局 3811

大草平松古窯跡で見つかった サギの絵

平成23年の春先に見つかった平安時代の窯跡の整理中に、大変珍しいものを見つけました。それは茶碗に刻まれた鳥の絵です。

田原市で焼かれていた焼き物には、絵が描かれていることがあります。これまでに国指定史跡大アラコ古窯跡で爬虫類（ヤモリ?）と紅葉が、大草町の惣作古窯跡からは唐草と小動物と歌が刻まれた碗（市指定文化財）が見つっています。なん



●大草平松古窯跡で見つかったサギの絵が描かれた茶碗

といつても国宝秋草文壺、重要文化財葦鷺文壺はその代表格で、渥美半島で多く見られる特徴です。鳥は、直径16cmほどの普通に焼かれる茶碗の内面を中心に頭を交互に向け二羽描かれ、頭と首、羽根、尾、足が描き分けられています。一羽の鳥は、長い嘴と頭の後ろに冠羽があり、首は長くはつきりと表現されています。翼は体に対して左右に開いた状態です。これだけ見ると、左の翼は凸レンズの断面のよう

な区画内に、乱雑に線が引かれ、右の翼にいたっては木の葉のようです。胴部は平行線で、ウナギのように細長く、足は体に対してほぼ直角に、足指が3本開いた状態で表現されています。もう一羽の鳥は、同じように長い嘴と長い首が明確に表現されています。顔周辺は良くわかりませんが、冠羽はないようです。グライダーのように、風に乗っているように見えます。

二羽とも同じ鳥を描いていると思います。長い嘴と長い首、長い足、冠羽があることから、サギの仲間のことです。渥美半島ということを考えればコサギの可能性が高いでしょう。サギは首を曲げて飛びますが、周囲を気にするときは、着陸するときは、首を伸ばすそうです。サギは、弥生時代から土器や銅鐸に描かれています。大きく美し

い鳥であるため人目につきやすく、馴染み深いというだけでなく、サギが集まる田んぼは、豊作になると信じられていたようです。碗に描かれたサギは、お世辞にも上手とはいえませんが、その特徴を的確に捉えています。おそらく絵師ではない焼き物作りの職人が、何かの拍子に描いたものでしょう。

この鳥が描かれたのは、平氏から源氏の時代が変わろうとした激動の時代です。のどかな渥美半島の風景を、どのような思いで描いたのでしょうか。

※鳥の特徴は、渡辺幸久さん（高松町）から意見をいただきました。冠羽とは、夏の繁殖期に現れる、頭の後ろに飛び出した羽根のこと。

（増山）

今月の「表紙」

▼2月14日はバレンタインデー。アメリカではバレンタインに、男性から女性へバラなどの花をプレゼントするのが一般的なのだとか。田原市のバラの産出額（平成18年生産農業所得統計）は日本一。花を贈る文化が根づき、田原市産のバラで、たくさんさんの笑顔が咲くといいなと思います。（○）

【表紙の写真】バラの花束